

貧酸素水塊速報 (2008年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

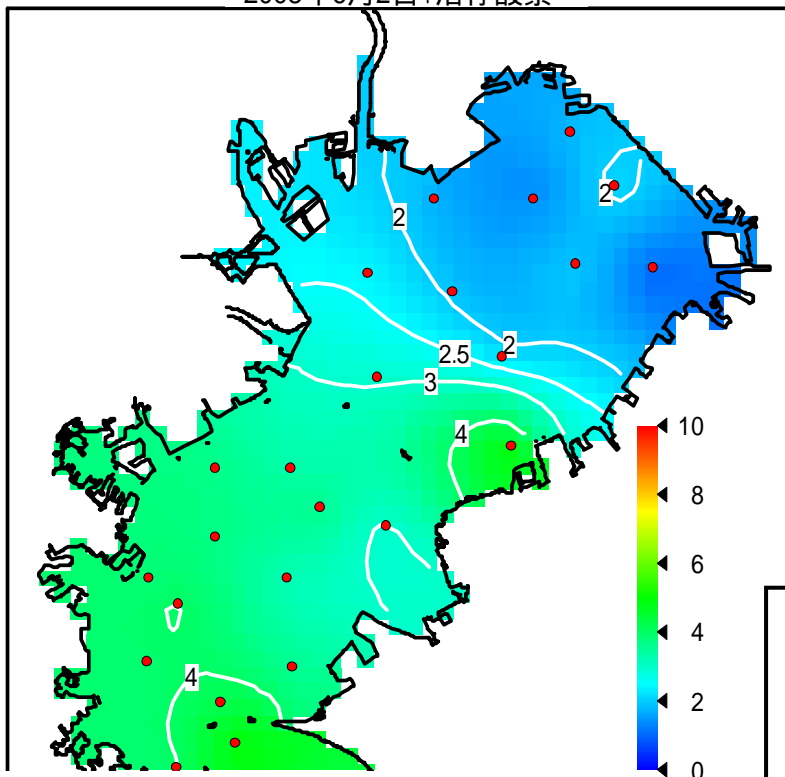
協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

貧酸素水塊は内湾北部の全域で認められました。しかし、溶存酸素量1.0ml/L以下の海域はなく、強い貧酸素化はまだ起きていません。

内湾中央部には濃い赤潮が発生していました(クロロフィルa:50~180 μ g/L,水色:黄褐~赤褐,透明度:1.5m以下)。同域の植物プランクトンは、渦鞭毛藻のケラチウム フルカ(*Ceratium furca*)単一種でした。

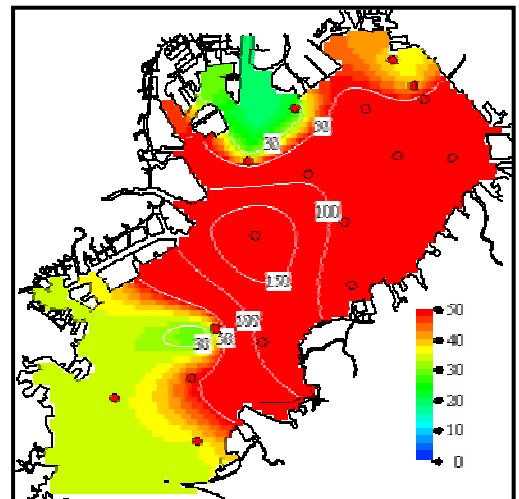
表層水温は18~20、底層水温は16~19 でした。

2008年6月2日:溶存酸素



底層の溶存酸素量分布(ml/L)
平成20年6月2日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	



表層のクロロフィルa量(μ g/L)

「貧酸素水塊予測システム」も運用しています。千葉県水産総合研究センターホームページからご覧ください。
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ。